

# 元社民党党首・現参議院議員

# 福島瑞穂

●収録日時：2002年



長年社民党の党首を務めた福島氏に、多様な社会や人権、夫婦別姓の問題などを伺いました。

■司会 DV防止法(DV配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)成立の経緯について教えてください。

■福島 参議院の共生社会に関する調査会で男女平等、特に女性に対する暴力への対応が遅れていることから、シエルトの的な位置付けなどを作りたいという事で始めました。超党派議員でプロジェクトを組み、海外視



察も行い、多くの議論を経てできた法律です。保護命令という新しい制度と、配偶者暴力相談支援センター(DVセンター)の法的な位置付けができました。保護命令とは、例えば「6カ月間、私に近付くな」などと裁判所から命令してもらい、違反すると1年以下の懲役又は100万円以下の罰金となります。このような新しい制度が、どのぐらい使われるかと思いましたが、制定後1ヶ月ほどで41件の保護命令が出ました。NGOや市民団体に対する国や地方公共団体からの援助も条文に入りました。今まで主に女性のための緊急避難所に対して、地方公共団体からの援助はありましたが、国からは1円も出ていませんでしたが、さほど大きくない資金なので支援して欲しい、と条文に入りました。

アメリカの場合、保護命令は警察が執行します。日本の場合はまだ、民事と刑事がくっついた

ような状態で、見直しのポイントになると思います。しかし裁判所が出した保護命令はその管内の警察には届くので、注意して見るという事になると思います。

■司会 今後のDVセンター運用で重要な事はありますか？

■福島 正直なところ、団体によって温度差があり、制度面がバラバラです。また、ケースワーカーや専門スタッフの法律ができましたが、どのように対応するか分からない点があると思います。各都道府県連が責任を持って指導する必要があります。

## 看過されていた人権問題が理解されるように

■司会 ストーカー行為規制法や児童虐待防止法などとの共通点はありますか？

■福島 いずれも民事不介入、法律は家庭の中に入らないとされた部分です。しかし問題がある場合はそこに着目して、手を差し伸べようとする事が共通項です。男女間のもつれ、子供のしつけ、夫婦喧嘩は犬も食わないと

見過ごされていた事が、人権問題であると理解されるようになっていこう。

■司会 選択的夫婦別氏制度も社会的に注目されていますが？

■福島 大学時代に「結婚したくない、名前を変えたくない」と言いますと「本当に好きな人に出会ってないからだ」と言われ私も一瞬「そうかな」とも思いましたが(笑)。理解していただきたいのは「彼の名前と一緒になれて嬉しい」と言う人がいても良いし、色んな理由から変えたくない人もいて良いのです。国会議員でも名前を変えたくない事実婚のカップルもいるんですよ。結婚したくても届けを出せない、出したけどダブルネームで苦しんでいる人がいる。困った例では、結婚したら夫と妻が全く同じ名前になった方々もいました。

■司会 福島さんご自身は？

■福島 夫婦別姓で、結婚届を出していません。子供は婚外子、あるいは非嫡出子と言われる立場なので、私は選択的夫婦別姓と婚外子差別撤廃を、趣味と生きがいと実益を兼ねてやっています。困っている人が大勢いて、弁

護士と司法書士は通称使用が認められています。公認会計士や税理士、医師は認められていません。働いている人だけではなく、色々な人間関係がある事を理解していただきたいです。

## 夫婦同姓の強要は稀 元々日本は別姓だった

■光永 中国、韓国は夫婦別姓ですよ。

■福島 夫婦同姓を強要するのは世界でも稀で、ヨーロッパやアメリカも、何らかの形で別姓が可能。日本は文化伝統に反する」という方に声を大にして言いたいですが、北条政子さん、日野富子さんなど、日本の文化伝統は別姓です。女の人は名前を持たなかった事もあります。

「正しい人生」があるというのではなく、一人ひとりが色々な形、場所、家庭の中でも外でも、一人でも生きられる、そして一緒に生きられればいいね、という社会を目指しています。DV防止法と平和の問題はつながっていて、暴力・武力・軍力で解決するのは下品だという事です。

## プロフィール

**福島 瑞穂**  
ふくしま みずほ



1955年宮崎県生まれ。宮崎県立宮崎大宮高等学校、東京大学法学部卒業。1987年に弁護士登録し、第二東京弁護士会に所属する。

1998年の参院選では、社民党に政治姿勢を買われて比例区から出馬し、初当選を果たす。2003年に社民党が大幅に議席を減らした事から、当時党首の土井たか子氏が引責辞任すると、後任として党首に選出される。

2009年に社民党・民主党・国民新党と鳩山連立内閣が発足すると、社民党は11年ぶりに与党に復帰。鳩山内閣では内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全担当、少子化対策担当、男女共同参画担当)を兼任した。2013年、長年勤めた社民党党首を辞任。現在は副党首として活躍している。現、参議院議員